

沖縄県八重山諸島の波照間島と小浜島におけるカマキリ目の初記録

辻本 始

New records of two species of Mantidae from Hateruma Island and Kohama Island, Yaeyama Islands, Okinawa Prefecture, Japan

Hajime TSUJIMOTO

キーワード：波照間島, 小浜島, マエモンカマキリ, チョウセンカマキリ

Key Words: Hateruma Is., Kohama Is., *Tenodera fasciata*, *Tenodera angustipennis*

沖縄県八重山諸島において、記録の無い島から2種のカマキリを確認したので報告する。

マエモンカマキリ (オキナワオオカマキリ)
Tenodera fasciata

撮影・捕獲日：2023年7月12日 1♂幼虫

場所：波照間島

備考：サトウキビ畑に隣接する未舗装の農道にて発見し(図1)、左右の前脚基節窩の間が前胸腹板の他の部分と同色であったことから本種と同定した(図2)。捕獲して飼育したところ、7月18日、7月29日、8月21日に脱皮、9月3日に羽化し、その後しばらく飼育した後、9月27日に死亡したため標本にした(図3)。



図1 波照間島のマエモンカマキリ幼虫。

八重山諸島における既知の産地は石垣島、西表島、小浜島、与那国島(大島, 2018; 日本直翅類学会, 2021)。

チョウセンカマキリ *Tenodera angustipennis*

撮影日：2023年7月14日 1幼虫(性別不明)

撮影場所：小浜島西大岳

備考：アダムの葉上にいたものを発見し(図4)、捕獲して左右の前脚基節窩の間が鮮やかなオレンジ色をしていることを確認したのち、直ちに元の場所に放した(図5)。八重山諸島における既知の産地は石垣島、西表島、与那国島、黒島(辻本, 2013; 大島, 2018; 日本直翅類学会, 2021)。



図2 波照間島のマエモンカマキリ幼虫。
図1の個体の左右の前脚基節窩の間が見えるようにしたところ。

引用文献

日本直翅類学会, 2021. 日本産直翅類分布表. ばったりぎす (165) 付録 01.

大島千幸, 2018. 沖縄県北部属島におけるカマキリ目 6種の初記録. 昆虫 (ニューシリーズ), 21 (2):

151-160.

辻本始, 2013. 沖縄県八重山諸島の黒島でのチョウセンカマキリの記録と小浜島のカマキリの写真. ばったりぎす (152) : 79-80.



図3 波照間島のマエモンカマキリ♂. 図1, 2の個体を飼育下で羽化させたもの.



図4 小浜島のチョウセンカマキリ幼虫.



図5 小浜島のチョウセンカマキリ幼虫.
図4の個体の左右の前脚基節窩の間が見えるようにしたところ.